

附属資料 1

希少動植物確認時マニュアル

1. 趣旨

森林管理計画書「3. 1. 2 希少種の保護について」に基づき、「改訂・石川県の絶滅のおそれのある野生生物 いしかわレッドデータブック〈動物編〉2020」及び「改訂・石川県の絶滅のおそれのある野生生物 いしかわレッドデータブック〈植物編〉2020」に掲載されている動植物を発見した際の対処方法を次のとおり定める。イヌワシ、クマタカ、オオタカ等の希少猛禽類を確認した場合は、当マニュアルによる対処に加えて、「間伐等の森林整備における猛禽類への対応マニュアル」（平成 21 年 環境部自然保護課・農林水産部森林管理課）に沿って森林施業の方法を調整する。

2. 管理責任者

- (1) 各構成員からの情報を整理、記録、図化する。
- (2) 関係機関に対して情報共有を図る。

3. 構成員

(1) 発見の記録と情報の共有

発見した場合は、別紙「希少動植物の生息・生育確認調査票」に記録し、原本を保管するとともに、速やかに FM 認証管理責任者に提出する。

(2) 発見時の対応

現状保存を優先し、発見の報告を行うとともに、保護対策を FM 認証管理責任者および関係機関と協議のうえ、希少動植物の生息・生育環境を阻害しないよう、森林施業の方法等を検討する。

(3) 森林施業時の注意点

- ・上記の検討結果に基づき、必要な措置を講じた上で、希少動植物の生息・生育環境を阻害しないよう森林施業を実施する。
- ・希少動物の営巣が見られるときは、営巣の妨げにならないよう配慮する。
- ・希少植物を発見し、施業に支障がある場合は、細心の注意をもって移植することとするが、同一施業地内において行うものとする。

(4) 希少動植物の生息・生育の公表

心無い捕獲等を防止するため、公表しないこととする。

付属資料 1 別紙

希少動植物の生息・生育確認調査票

石川県県有林SGEC森林認証

FM認証管理責任者 様

構成員氏名

発見・確認者	(所属) (氏名)
発見日	年 月 日 ()
発見場所	
希少動植物名	
発見後の対応	

(添付書類)

- ・発見した場所の図面 (森林計画図等)
- ・希少動植物の様子がわかる写真 (可能な場合)

付属資料1別紙 県有林において留意すべき野生生物種一覧

分類	種名	石川県RDB	国RDB	国内希少野生動植物種	県内希少野生動植物種	分布状況	生息環境	保護のための手法	認知難易度	出現頻度	備考
哺乳類	コウモリ類	絶滅危惧I類ほか	絶滅危惧IB類ほか			金沢市以南	森林	自然林の保護、大木の保護	困難	普通	
哺乳類	ヤマネ	準絶	準絶			白山市、小松市、金沢市	森林	自然林の保護	困難	普通	
哺乳類	ホンドモモンガ	準絶	-			金沢市以南	森林	自然林の保護、大木の保護	困難	普通	
哺乳類	カワネズミ	準絶	-			金沢市以南	溪流	河川、溪畔林の開発抑制	困難	稀	
哺乳類	ヒメヒミス	準絶	-			金沢市以南	森林	不明	困難	稀	
鳥類	ミソゴイ	絶滅危惧I類	絶滅危惧IB類			全県	森林	薄暗い林、溪畔林の保護	困難	稀	春～夏に渡来
鳥類	クマタカ	絶滅危惧I類	絶滅危惧IB類	該当		石動山以南	森林	猛禽類への対応マニュアル（営巣に配慮）	容易	普通	
鳥類	イヌワシ	絶滅危惧I類	絶滅危惧IB類	該当		金沢市以南	森林	自然林の保護。大工林の管理。 猛禽類への対応マニュアル（営巣に配慮）	容易	稀	
鳥類	チゴモズ	絶滅危惧I類	絶滅危惧IA類			全県で非常に局地的	林縁環境	下層植生、マント群落の保護	普通	稀	春～夏に渡来
鳥類	アカモズ	絶滅危惧I類	絶滅危惧IB類			全県で非常に局地的	林縁環境	不明	普通	稀	春～夏に渡来
鳥類	サシバ	絶滅危惧II類	絶滅危惧II類			全県	森林	猛禽類への対応マニュアル（営巣に配慮）	容易	普通	春～夏に渡来
鳥類	オオタカ	絶滅危惧II類	準絶			全県	森林、農地等	猛禽類への対応マニュアル（営巣に配慮）	普通	普通	
鳥類	ハヤブサ	絶滅危惧II類	絶滅危惧II類	該当		全県	森林、海岸、農地等	猛禽類への対応マニュアル（営巣に配慮）	容易	普通	
鳥類	アオバスク	絶滅危惧II類	-			全県	森林	大木の保護	困難	普通	春～夏に渡来
鳥類	ヨタカ	絶滅危惧II類	絶滅危惧II類			全県	森林	林内のギャップ環境の維持	困難	普通	春～夏に渡来
鳥類	アカショウビン	絶滅危惧II類	-			全県	森林	薄暗い林、溪畔林の保護	容易（声）	普通	春～夏に渡来
鳥類	フッボウソウ	絶滅危惧II類	絶滅危惧IB類			全県	森林	大木の保護	容易	稀	春～夏に渡来
鳥類	オンドリ	準絶	情報不足			全県	川沿い等	溪畔林の保護	容易	普通	
鳥類	ミサゴ	準絶	準絶			全県	森林、海岸等	猛禽類への対応マニュアル（営巣に配慮）	容易	普通	
鳥類	ハチクマ	準絶	準絶			全県	森林	猛禽類への対応マニュアル（営巣に配慮）	容易	普通	春～夏に渡来
鳥類	ハイタカ	準絶	準絶			全県	森林、農地等	猛禽類への対応マニュアル（営巣に配慮）	容易	普通	
鳥類	ノスリ	準絶	-			全県	森林、農地等	猛禽類への対応マニュアル（営巣に配慮）	容易	普通	
鳥類	ヤマドリ	準絶	準絶			全県	森林	自然林の保護	容易	普通	
鳥類	コノハスク	準絶	-			全県	森林	自然林の保護、大木の保護	困難	稀	春～夏に渡来
鳥類	サンショウクイ	準絶	絶滅危惧II類			全県	森林	自然林の保護	容易（声）	普通	春～夏に渡来
鳥類	サンコウチョウ	準絶	-			全県	森林	薄暗い林、溪畔林の保護	容易（声）	普通	春～夏に渡来
鳥類	ノジコ	準絶	準絶			金沢市以南	森林（溪流沿い）	溪畔林の保護	困難	稀	春～夏に渡来
両生・爬虫類	アベサンショウウオ	絶滅危惧I類	絶滅危惧IA類	該当		小松市、能美市	里山の水辺	水辺への土壌流出防止、里地の水辺の保護、水辺周辺の開発抑制	困難	稀	
両生・爬虫類	ホクリクサンショウウオ	絶滅危惧I類	絶滅危惧IB類		該当	かほく市以北	里山の水辺	水辺への土壌流出防止、里地の水辺の保護、水辺周辺の開発抑制	困難	普通	
両生・爬虫類	ナガレタゴガエル	準絶	-			金沢市以南	溪流	河川、溪畔林の開発行為抑制	困難	普通	
両生・爬虫類	タカチホヘビ	準絶	-			中能登地区以南	森林	自然林の保護	困難	普通	
両生・爬虫類	シロマダラ	準絶	-			全県	森林	自然林の保護	困難	普通	
両生・爬虫類	ヒダサンショウウオ	地域個体群	準絶			中能登～奥能登	溪流	溪流周辺の開発抑制	困難	稀	
魚類	アカザ	絶滅危惧II類	絶滅危惧II類			犀川、浅野川	溪流	河川、溪畔林の開発抑制	困難	稀	
魚類	アジメドジョウ	準絶	絶滅危惧II類			加賀市旧山中町	溪流	河川の開発抑制、土砂の流入防止	困難	稀	
昆虫類	希少トンボ類	絶滅危惧I類ほか	絶滅危惧I類ほか			全県	里山の水辺	水辺周辺の開発抑制、土砂の流入防止	容易	普通	
昆虫類	希少ゲンゴロウ類	絶滅危惧I類ほか	絶滅危惧I類ほか	該当		主に能登半島	里山の水辺	水辺周辺の開発抑制、土砂の流入防止	困難	稀	特に奥能登には希少種が多い
昆虫類	シロスヒラタハバチ	絶滅危惧I類	情報不足			珠洲市	森林	自然林の保護	困難	稀	
昆虫類	ネプトクワガタ	絶滅危惧II類	-			津幡町以南	森林	雑木林の保護	普通	稀	
昆虫類	アカマダラハナムグリ	絶滅危惧II類	情報不足			金沢市以南	森林	雑木林の保護	困難	稀	
昆虫類	希少タマムシ類	絶滅危惧II類ほか	-			かほく市以南	森林	雑木林の保護	困難	稀	
昆虫類	希少カミキリムシ類	絶滅危惧II類ほか	絶滅危惧II類ほか			全県	森林	自然林の保護、古木の保護	普通	普通	
昆虫類	ゴマシジミ	絶滅危惧II類	絶滅危惧II類			白山周辺	森林	自然林の保護	困難	稀	
昆虫類	ヒメシジミ	絶滅危惧II類	準絶			白山周辺	森林	自然林の保護	困難	稀	
昆虫類	ミネトワダカワゲラ	準絶	-			宝達志水町以南	溪流	水辺周辺の開発抑制、土砂の流入防止	困難	稀	
昆虫類	ヒメミズカマキリ	準絶	-			全県	里山の水辺	水辺周辺の開発抑制、土砂の流入防止	困難	稀	
昆虫類	ナガヒラタムシ	準絶	-			全県	森林	自然林の保護、古木の保護	困難	普通	
昆虫類	ヒメボタル	準絶	-			加賀市、小松市、白山市	森林（溪流沿い）	溪畔林の保護	困難	普通	
昆虫類	クロモンアメバチ	準絶	-			白山市、宝達志水町	松林	薬剤の不使用	困難	稀	
昆虫類	ギフチョウ	準絶	絶滅危惧II類			金沢市以南	森林	雑木林の保護	容易	普通	
昆虫類	ホシチャバネセセリ	準絶	絶滅危惧I類			加賀市、小松市、能美市	森林	雑木林の保護	普通	普通	
昆虫類	オオチャバネセセリ	準絶	-			全県	森林、疎林	疎林環境の維持	普通	普通	
昆虫類	ウラギンスジヒョウモン	準絶	準絶			全県	森林、草地	雑木林、草地の維持	普通	普通	
昆虫類	オオムラサキ	準絶	準絶			全県	森林	雑木林の保護	容易	稀	
昆虫類	オオシモフリスズメ	準絶	-			金沢市以南	森林、草地	雑木林、草地の維持	困難	稀	
貝類	希少陸産貝類	絶滅危惧II類ほか	準絶ほか			全県	森林	自然林の保護、古木の保護	困難	普通	
草本類	エチゼンダイモンシソウ	絶滅危惧I類	絶滅危惧II類		該当						
草本類	サドクムユリ	絶滅危惧I類	-		該当						
草本類	トキソウ	絶滅危惧I類	準絶		該当						
草本類	サギソウ	絶滅危惧I類	準絶		該当						
草本類	トウカイコモウセンゴケ	絶滅危惧I類	-		該当						
草本類	イシモチソウ	絶滅危惧I類	準絶		該当						

分類	種名	石川県RDB	国RDB	国内希少野生動植物種	県内希少野生動植物種	分布状況
哺乳類	コウモリ類	絶滅危惧類ほか	絶滅危惧IB類ほか			金沢市以南
哺乳類	ヤマネ	準絶	準絶			白山市、小松市、金沢市
哺乳類	ホンドモモンガ	準絶	-			金沢市以南
哺乳類	カワネズミ	準絶	-			金沢市以南
哺乳類	ヒメヒミズ	準絶	-			金沢市以南
鳥類	ミソゴイ	絶滅危惧I類	絶滅危惧IB類			全県
鳥類	クマタカ	絶滅危惧I類	絶滅危惧IB類	該当		石動山以南
鳥類	イヌワシ	絶滅危惧I類	絶滅危惧IB類	該当		金沢市以南
鳥類	チゴモズ	絶滅危惧I類	絶滅危惧IA類			全県で非常に局地的
鳥類	アカモズ	絶滅危惧I類	絶滅危惧IB類			全県で非常に局地的
鳥類	サシバ	絶滅危惧II類	絶滅危惧II類			全県
鳥類	オオタカ	絶滅危惧II類	準絶	該当		全県
鳥類	ハヤブサ	絶滅危惧II類	絶滅危惧II類	該当		全県
鳥類	アオバズク	絶滅危惧II類	-			全県
鳥類	ヨタカ	絶滅危惧II類	絶滅危惧II類			全県
鳥類	アカショウビン	絶滅危惧II類	-			全県
鳥類	ブッポウソウ	絶滅危惧II類	絶滅危惧IB類			全県
鳥類	オシドリ	準絶	情報不足			全県
鳥類	ミサゴ	準絶	準絶			全県
鳥類	ハチクマ	準絶	準絶			全県
鳥類	ハイタカ	準絶	準絶			全県
鳥類	ノスリ	準絶	-			全県
鳥類	ヤマドリ	準絶	準絶			全県
鳥類	コノハズク	準絶	-			全県
鳥類	サンショウクイ	準絶	絶滅危惧II類			全県
鳥類	サンコウチョウ	準絶	-			全県
鳥類	ノジコ	準絶	準絶			金沢市以南
両生・爬虫類	アベサンショウウオ	絶滅危惧I類	絶滅危惧IA類	該当		小松市、能美市
両生・爬虫類	ホクリクサンショウウオ	絶滅危惧I類	絶滅危惧IB類		該当	かほく市以北
両生・爬虫類	ナガレタゴガエル	準絶	-			金沢市以南
両生・爬虫類	タカチホヘビ	準絶	-			中能登地区以南
両生・爬虫類	シロマダラ	準絶	-			全県
両生・爬虫類	ヒダサンショウウオ	地域個体群	準絶			中能登～奥能登
魚類	アカザ	絶滅危惧II類	絶滅危惧II類			犀川、浅野川
魚類	アジメドジョウ	準絶	絶滅危惧II類			加賀市旧山中町
昆虫類	希少トンボ類	絶滅危惧類ほか	絶滅危惧類ほか			全県
昆虫類	希少ゲンゴロウ類	絶滅危惧類ほか	絶滅危惧類ほか	該当		主に能登半島
昆虫類	シロズヒラタハバチ	絶滅危惧I類	情報不足			珠洲市
昆虫類	ネブトクワガタ	絶滅危惧II類	-			津幡町以南
昆虫類	アカマダラハナムグリ	絶滅危惧II類	情報不足			金沢市以南
昆虫類	希少タマムシ類	絶滅危惧II類ほか	-			かほく市以南
昆虫類	希少カミキリムシ類	絶滅危惧II類ほか	絶滅危惧II類ほか			全県
昆虫類	ゴマシジミ	絶滅危惧II類	絶滅危惧II類			白山周辺
昆虫類	ヒメシジミ	絶滅危惧II類	準絶			白山周辺
昆虫類	ミネトワダカワゲラ	準絶	-			宝達志水町以南
昆虫類	ヒメミズカマキリ	準絶	-			全県
昆虫類	ナガヒラタムシ	準絶	-			全県
昆虫類	ヒメポタル	準絶	-			加賀市、小松市、白山市
昆虫類	クロモンアメバチ	準絶	-			白山市、宝達志水町
昆虫類	ギフチョウ	準絶	絶滅危惧II類			金沢市以南
昆虫類	ホシチャバネセセリ	準絶	絶滅危惧I類			加賀市、小松市、能美市
昆虫類	オオチャバネセセリ	準絶	-			全県
昆虫類	ウラギンスジヒョウモン	準絶	準絶			全県
昆虫類	オオムラサキ	準絶	準絶			全県
昆虫類	オオシモフリスズメ	準絶	-			金沢市以南
貝類	希少陸産貝類	絶滅危惧II類ほか	準絶ほか			全県
草本類	エチゼンダイモンジソウ	絶滅危惧I類	絶滅危惧II類		該当	
草本類	サドクルマユリ	絶滅危惧I類	-		該当	
草本類	トキソウ	絶滅危惧I類	準絶		該当	
草本類	サギソウ	絶滅危惧I類	準絶		該当	
草本類	トウカイコモウセンゴケ	絶滅危惧I類	-		該当	
草本類	イシモチソウ	絶滅危惧I類	準絶		該当	

附属資料 2

SGEC 認証材取扱マニュアル

森林管理計画書「3.4.5 認証生産物の分別・管理及び運搬」に基づき、本計画の認定者（県）以外の者がSGEC森林認証材を取扱う場合については、次のとおりとする。

なお、本マニュアルにおける「立木売買」とは、所有権が森林所有者から契約業者に移転した上で素材生産を行うことをいい、「委託生産」とは、所有権が森林所有者から移転しないまま素材生産を行うことをいう。

1. 認証森林内で立木売買を行う場合

(1) 施業前

- ・契約業者は、COC認証を取得している者に限る。立木売買契約書等に認証登録番号及び認証種類を記載する。
- ・管理責任者は、立木売買契約書等の内容を確認し、認証材として適正と認められた場合、「SGEC森林認証材証明書（立木売買用）（別紙1）」を契約業者に交付することができる。

(2) 施業後

- ・契約業者は、精算書（写）又は売上傳票（写）等を用い、SGEC森林認証材の出荷材積を構成員に報告する。
- ・契約業者は、本計画書に基づく施業を実施したかどうか、チェックリストを作成し構成員に提出する。

2. 認証森林内で委託生産を行う場合

(1) 施業前（誓約書の提出）

- ・本計画の認定者（県）以外の者が、認証森林内で委託生産を実施し、SGEC森林認証材として取扱う場合、認定者（県）の目的に同意し、管理責任者に「SGEC認証材取扱に関する遵守誓約書（別紙2）」を提出すること。

(2) 施業後

- ・契約業者は、本計画書に基づく施業を実施したかどうか、チェックリストを作成し構成員に提出する。

第 号
年 月 日

(契約業者) 様

石川県県有林FM認証管理責任者
石川県農林水産部森林管理課長

石川県県有林SGEC森林認証材 証明書 (立木売買用)

森林経営計画団地名	石川県県有林
認定番号	
森林の所在地 (林小班)	
森林所有者名	石川県
樹種	
長さ	
伐採予定材積	
伐採材積 (施業後に記入)	
認証登録番号	
認証の種類	森林管理認証 (FM認証)
備考: 立木売買契約による出荷	
契約日	
CoC登録番号と認証の種類	
※証明書作成時必要書類: ・立木売買契約書等の写 (販売金額や支払先等の個人情報の削除は可)	
※施業実施後提出書類: ・SGEC認証材の生産量が記載された精算書又は売り上げ伝票の写 (販売金額や支払先等の個人情報の削除は可) ・森林作業チェックリスト	

【記入例】

森管第●●●号

●年●月●日

〇〇森林組合

代表理事組合長 様

石川県県有林FM認証管理責任者
石川県農林水産部森林管理課長

石川県県有林SGEC森林認証材 証明書（立木売買用）

森林経営計画団地名	石川県県有林
認定番号	30-1
森林の所在地（林小班）	中能登町石動山県有林
	（4林班10-3, 11-1, 12-2, 22-1、 7林班16-1, 16-2、8林班23-1, 23-2）
森林所有者名	石川県
樹種	スギ
長さ	16m
伐採予定材積	649m ³
伐採材積（施業後に記入）	
認証登録番号	JAF TA-078
認証の種類	森林管理認証（FM認証）
備考：立木売買契約による出荷	
契約日	平成29年7月7日
CoC登録番号と認証の種類	
※証明書作成時必要書類： ・立木売買契約書等の写（販売金額や支払先等の個人情報の削除は可）	
※施業実施後提出書類： ・SGEC認証材の生産量が記載された精算書又は売り上げ伝票の写（販売金額や支払先等の個人情報の削除は可） ・森林作業チェックリスト	

森林認証材 (SGEC) 出荷証明書

購入者 _____ 御中

SGEC 認証番号:

石川県農林水産部森林管理課長

石川県金沢市鞍月 1 丁目 1 番地

TEL : 076-225-1646

FAX : 076-225-1645

下記の通り出荷したことを証明いたします。

記

1. 納入場所: _____

2. 納品日: _____

3. 出荷明細書

樹種	産地	サイズ		数量 (本)	材積 (m ³)	備考
		長さ (mm)	径 (mm)			
						森林経営計画番号

上記の製品は、すべて森林認証 (100%SGEC 認証) 製品であることを証明いたします。

【記入例】

年 月 日

森林認証材(SGEC)出荷証明書

購入者 _____ 様

SGEC認証番号：JAFTA-078

石川県農林水産部森林管理課長

石川県金沢市鞍月1丁目1番地

TEL：076-225-1646

FAX：076-225-1645

下記の通り出荷したことを証明いたします。

記

1. 納入場所：

2. 納品日：

3. 出荷明細書

樹種	産地	サイズ		数量(本)	材積(m ³)	備考
		長さ(mm)	径(mm)			
スギ	石動山 県有林	4,000	180~320	8		森林経営計画番号30-1

※長さ、径、数量、材積の明細は別紙

上記の製品は、すべて森林認証(100%SGEC認証)製品であることを証明いたします。

付属資料2別紙3

S G E C 認証材取扱に関する遵守誓約書

石川県県有林S G E C 森林認証

管理責任者 様

石川県県有林が取得したS G E C 森林認証内での作業及びS G E C 森林認証材の取扱いについて、S G E C の原則と基準及び石川県県有林S G E C 森林管理計画書を遵守するとともに、認証材の生産量（材積）の報告及び森林作業チェックリストの提出を誓約します。

なお、本誓約書の期間については、認証期間（5年）に準じて 年 月 日までとします。ただし、この期間が満了する1か月前までに文書により異議を申し立てないときは、更に5年間延長するものとし、その後においてもまた同様とします。

年 月 日

住 所

事業体名

氏 名

森林作業チェックリスト

構成員責任者：	
県有林事業受託者：	
記入者：	
作業者：	
実施個所（林小班）：	

作業前 年 月 日記入

※該当しない場合は斜線「/」を記入する。

チェック	確認事項	対応策など
	作業予定林分における作業内容が把握されているか。	
	林分の境界は明確か。	
	使用する機械器具は正常な状態か。	
	必要な安全装備がされているか。	
	危険のポイントを把握されているか。	
	危険のポイントの対応策は考えられているか。	
	作業予定林分に希少野生動植物は生息していないか。	
	作業予定林分又は隣接して河川、溪流がある場合、作業により土砂が流れ込む恐れはないか。	
	機械のオイル漏れが発生した場合の対応策は考えられているか。取り替え部品、目立て器具等は確保されているか。	
	木材を搬出する場合、残存木を傷めることなく搬出する手段が考えられているか。	
	木材の搬出によって路面、路肩等を傷めた場合、修復する手段は考えられているか。	

作業後 年 月 日記入

チェック	確認事項	対応策など
	作業予定林分の希少野生動植物への影響はないか。	
	作業予定林分又は隣接して河川、溪流がある場合、作業により土砂が流れ込んでいないか。	
	機械のオイル漏れはないか。	
	木材を搬出する場合、残存木を傷めた形跡はないか。	
	林道（作業道）の路面、路肩等の補修の必要ないか。	
	廃棄物が放置されていないか。	

森林の状況

チェック	確認事項	対応策など
	違法行為の形跡はないか。	
	病虫害、獣害の発生はないか。	
	外来種の侵入、拡大はないか。	
	山崩れ等の自然崩壊はないか。	

森林作業チェックリスト

構成員責任者：〇〇農林総合事務所
県有林事業受託者：〇〇森林組合
記入者：〇〇支所業務課長●● ●●
作業者：(株)〇〇造林 ●● ●●
実施箇所（林小班）：△△県有林 1-12-1, 1-12-2, 1-12-3

作業前 年 月 日記入

※該当しない場合は斜線「/」を記入する。

チェック	確認事項	対応策など
✓	作業予定林分における作業内容が把握されているか。	
✓	林分の境界は明確か。	
✓	使用する機械器具は正常な状態か。	
✓	必要な安全装備がされているか。	
✓	危険のポイントを把握されているか。	
✓	危険のポイントの対応策は考えられているか。	
✓	作業予定林分に希少野生動植物は生息していないか。	
✓	作業予定林分又は隣接して河川、溪流がある場合、作業により土砂が流れ込む恐れはないか。	
✓	機械のオイル漏れが発生した場合の対応策は考えられているか。取り替え部品、目立て器具等は確保されているか。	
✓	木材を搬出する場合、残存木を傷めることなく搬出する手段が考えられているか。	
✓	木材の搬出によって路面、路肩等を傷めた場合、修復する手段は考えられているか。	

作業後 年 月 日記入

チェック	確認事項	対応策など
✓	作業予定林分の希少野生動植物への影響はないか。	
✓	作業予定林分又は隣接して河川、溪流がある場合、作業により土砂が流れ込んでいないか。	
✓	機械のオイル漏れはないか。	
✓	木材を搬出する場合、残存木を傷めた形跡はないか。	
✓	林道（作業道）の路面、路肩等の補修の必要はないか。	
✓	廃棄物が放置されていないか。	

森林の状況

チェック	確認事項	対応策など
✓	違法行為の形跡はないか。	
✓	病害虫、獣害の発生はないか。	
✓	外来種の侵入、拡大はないか。	
✓	山崩れ等の自然崩壊はないか。	

付属資料 3

石川県県有林 SGEC 森林認証 モニタリング実施要領

(趣旨)

第1 モニタリングは、当管理計画の実行状況と環境への影響を把握、評価するとともに、モニタリング結果に基づき計画や施業方法等の改善点を検討するために行う。

(実施者)

第2 モニタリングの実施者は、農林総合事務所森林部長（以下、「部長」）が指名する。

(頻度及び時期)

第3 モニタリングは、農林総合事務所単位で年1回程度、それぞれ最低1箇所以上実施する。また、施業前及び施業後には、現地調査を実施する。

2 そのほか、主伐を実施した箇所がある場合は、伐採後の翌年度から数えて5年間、モニタリングを継続し更新状況を観察する。

(調査項目)

第4 モニタリングの調査項目は、以下の通りとする。

- 一 対象（場所、実施期間、林小班、法令、委託先、作業者、CoC 認証/森林作業チェックリスト）
- 二 施業実施状況（作業の種類及び規模）
- 三 環境への影響（生物多様性保全（希少種の在否、空洞木の保存、下層植生、水辺林の保全状況）、土壌及び水資源の保全（裸地の最小化、水流への土壌流出、崩壊、ゴミ、燃料薬剤の廃棄）、森林の生産力及び健全性の維持（森林病虫害、獣害、気象害、森林火災）、主伐における留意事項※主伐のみ該当）（伐区の形状、保護樹帯、母樹、種子の結実、天然稚樹の発生、後進の状況）

(調査方法)

第5 モニタリング調査は、現地調査のほか、施業及び生産物の販売に係る申請書、届出書、伝票等の確認により行う。また、現地調査と併せ、森林調査簿や過去の調査野帳、GIS データ（例：林野庁森林生態系多様性基礎調査データ）を活用する。

(記録の作成)

第6 モニタリング情報の記録は、付属資料3 モニタリングチェックリスト（現地調査用）に記入する。

(結果の報告)

第7 部長は、毎年3月末までに、現地調査の状況等から管内の森林管理計画及び森林経営計画の実行管理の状況について、森林管理課長に報告する。

(モニタリング結果の取扱い)

第8 モニタリングの情報は、森林管理課において保管する。

附 則

この要領は令和 年 月 日から施行する。

モニタリング・チェックリスト（現地調査用）

		実施者	所属及び職氏名		
		記録日（作業前）	年 月 日	記録日（作業後）	年 月 日
項 目		記 録			
1) 対 象					
(ア) 場 所					
(イ) 実施期間		自：		至：	
(ウ) その他		林小班		林 種	
		法指定	<input type="checkbox"/> 保安林	<input type="checkbox"/> 国立(定)	<input type="checkbox"/> 鳥獣保 <input type="checkbox"/> その他
		委託先			
		(作業者)			
		CoC認証/森林作業チェックリスト			
2) 施業実施状況					
(ア) 作業の種類		①主 伐			
		②間 伐			
		③造 林			
		④保 育			
		⑤路網整備			
(イ) 作業の規模（面積・延長）			ha、		メートル
3) 環境への影響		作業前	作業後	種類	摘要
生物多様性の保全	希少種				非公開
	空洞木、大木、枯損木				
	下層植生の生育				
	水辺林の保全				
壊及び水資源の保全	裸地の最小化				
	水流への土壌流出				
	崩 壊				
	ゴミの廃棄 燃料、薬剤の廃棄				
森林生態系の生産力及び健全性の維持	森林病虫害				
	獣 害				
	気象害				
	森林火災				
主伐における留意事項 ※主伐のみ該当	伐区の形状				調査日
	保護樹帯の設置				1年目：
	母樹の保残				2年目：
	種子の結実				3年目：
	天然稚樹の発生				4年目：
	更新の状況				5年目：
5) 写真、図面					
		平面図(1/50,000)		林況写真	
備考					



附属資料 3

モニタリング・チェックリスト（現地調査用 記入例）

		実施者	所属及び職氏名		
		記録日（作業前）	年 月 日	記録日（作業後）	年 月 日
項 目	記 録				
1) 対 象	西俣県有林				
(ア) 場 所	小松市西俣町井 1 番外				
(イ) 実施期間	自：令和4年7月1日		至：令和4年12月20日		
(ウ) その他	林小班	1 - 1 - 1	林 種	人工林	
	法指定	<input checked="" type="checkbox"/> 保安林 <input type="checkbox"/> 国立(定) <input type="checkbox"/> 鳥獣保 <input type="checkbox"/> その他			
	委託先	●●森林組合			
	(作業者)	(株)◇◇			
CoC認証/森林作業チェックリスト				あり	
2) 施業実施状況					
(ア) 作業の種類	①主 伐	皆伐			
	②間 伐				
	③造 林				
	④保 育				
	⑤路網整備	森林作業道			
(イ) 作業の規模（面積・延長）	1.00 ha		100メートル		
3) 環境への影響					
生物多様性の保全	希少種	作業前	作業後	種類	摘要
	空洞木、大木、枯損木	あり	あり	動物	非公開
	下層植生の生育	あり	あり	枯損木	
	水辺林の保全	良好	良好	灌木	
壊及び水資源の保全	裸地の最小化	良好	良好	混交林	
	水流への土壌流出	なし	なし		
	崩 壊	なし	なし		
	ゴミの廃棄	なし	なし		
森林生態系の生産力及び健全性の維持	燃料、薬剤の廃棄	なし	なし		
	森林病虫害	なし	なし		
	獣 害	なし	なし		
	気象害	あり	あり	雪害	
主伐における留意事項 ※主伐のみ該当	森林火災	なし	なし		
	伐区の形状	適当	適当		調査日
	保護樹帯の設置	適当	適当	尾根	1年目：
	母樹の保残	あり	あり	針広混交	2年目：
	種子の結実	豊	豊		3年目：
	天然稚樹の発生	あり	あり	広葉樹	4年目：
更新の状況	良好	良好	実生	5年目：	
5) 写真、図面					
<div style="border: 1px dashed black; height: 150px; width: 100%;"></div>					

備考

西俣県有林の概要

面積： 270.22 ha, 標高： 200m ~ 480m , 人工林率： 82%
 地域： 50選 展示林 森林保険： 加入



JAFTA-078 石川県県有林

石川県県有林SGEC森林管理認証 内部監査規程

1. 目的

石川県県有林SGEC森林管理認証が「SGEC持続可能な森林管理一要求事項」及び森林管理計画書に基づき、適正な森林管理を行っているか監査を行う。

2. 監査員

監査員は、県有林森林認証の構成員関係以外の中から、森林管理課長（FM認証管理責任者）が指名する。

3. 監査の頻度

内部監査は、年1回実施する。

4. 監査の対象

監査の対象は、石川県県有林SGEC森林管理認証の認証対象森林とする。

5. 監査の基準

監査員は以下の基準に基づき、適正な森林管理が行われているか監査する。

- (ア) 森林の現況及び管理の状況が適正に把握できているか。
- (イ) 森林経営計画の実行管理及び森林管理計画の計画事項が守られているか。
- (ウ) 持続可能な森林管理の要求事項を満たしているか。
- (エ) モニタリング及び情報公開が適正に実施されているか。

6. 監査の方法

監査員は、モニタリング報告をもとに内部監査を実施する。また、必要に応じて構成員等へのヒアリングや帳票及び諸資料の提出を求めることができる。

7. 監査調書の作成

監査員は、監査終了後、監査調書を作成しFM認証管理責任者に提出する。

8. 監査結果の周知及び改善

FM認証管理責任者は、内部監査の結果を構成員責任者及び構成員に周知する。また、内部監査において改善するよう指示された事項について、計画の見直しや構成員への指導、教育等を行い、森林管理計画の改善に努める。

9. 記録の保存

FM認証管理責任者は、内部監査の実行の証拠として文書情報と監査調書を保管する。監査調書の保存期間は、石川県文書取扱要領に準ずる。

付属資料3別紙

内 部 監 査 調 書

石川県県有林SGEC森林認証

FM認証管理責任者 様

監査員氏名

	日 時	年 月 日
チェック項目	所 見	
1. 計画の達成状況 (森林経営計画の実行管理、森林管理計画の達成度)		
2. 環境に対する影響 (生物多様性の保全、土壌及び水資源の保全、森林の生産力及び健全性)		
3. 社会・経済的影響		
4. 改善すべき点・対応状況など	(指摘事項) (上記への対応) <input type="checkbox"/> 計画の変更または見直し(森林経営計画・森林管理計画) <input type="checkbox"/> 構成員、請負先等への指導、教育 <input type="checkbox"/> その他 ()	
備 考		

上記の内容について確認を実施

年 月 日

FM認証管理責任者 森林管理課長

印

参考：内部監査におけるチェックリスト

	森林施業について、「森林管理計画書」・「森林作業共通仕様書」等を遵守しているか
	「森林施業における環境配慮」を遵守しているか
	「野生生物と文化財の保護」を遵守しているか
	「効率的な伐採・造材マニュアル」を遵守しているか
	「化学物質取扱マニュアル」を遵守しているか
	「廃棄物処理マニュアル」を遵守しているか
	「SGEC認証材取扱マニュアル」を遵守しているか
	森林作業チェックリストを用いて適切に実施しているか
	モニタリング用チェックリストを用いて適切に実施しているか
	苦情（意見）への対応を適切に実施しているか
	認証材生産・出荷状況の確認を行っているか
	SGECマークの使用・管理は適切か
	その他（ ）